

新・八幡の歴史 8回目

八幡さん、天神さん、お稲荷さんを合わせると全国の神社の約 25 %にあたるそうです。その中の八幡宮では三神としてあげられているのは応神天皇、神功皇后、比咩大神が多い。応神天皇が八幡神に。

神功皇后は応神天皇を生んだ母、比咩(ひめ)大神は彼の妻で、巫女として応神天皇を八幡神として生み出した(出現させた)母と言われる。欽明天皇の時代こと。欽明天皇は 6 世紀半ば大陸からもたらされた文化、仏教などを積極的に吸収した。

八幡神の出現と(大分県宇佐からの)中央への進出は何らかの政治的な動きであるだろう。

そして、(日本古来の)神様と(大陸からの)仏様との合体という形・・・神仏習合が石清水からスタートし、日本中に広まってゆく。「僧籍を持つ人が神主」というのが当たり前の形態が明治の神仏分離まで続く。八幡宮寺として賑わった。とても詳しいお話でした。

- ① 日時 2018年12月20日(木) 13時30分～
- ② 講師 出口修さん
- ③ 参加費 100円

新・八幡の歴8回目です。新しくスタートしています。前のお話と違う部分も話されるそうです。



宇佐八幡宮(ウキペディアより)

八幡まるごと館 / 八幡市男山松里12-20

(TEL&FAX) 075-983-3664

(E-MAIL) yawata@marugotokan.net

ホームページは <http://marugotokan.net/>

又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土日午後です。